奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものにふさわしい自覚と誇りに生きましょう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間になりましょう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましょう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましょう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましょう。

奈良市民だより

No.237

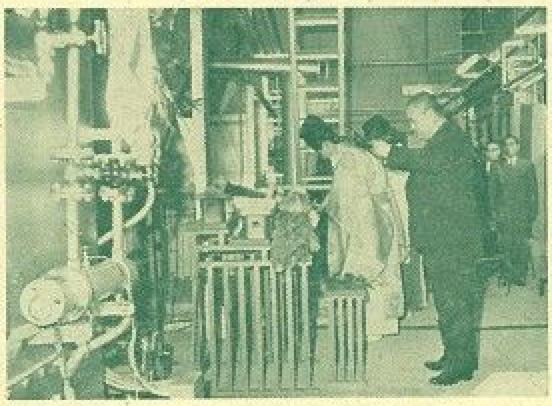
市民のうごき
（11月15日現在）

（前月比△印は減）

人口	216,247	（713）
男	105,154	（354）
女	111,093	（359）
世帯数	65,344	（229）

清掃工場 試運転は好調

今月いよいよ可働へ 長年のゴミの悩み解決



市内佐紀町、国道二十四号バイパス沿いに建設していた奈良市宿願の清掃工場が完成し、十一月十六日待望の火入れ式が行なわれ、関係者三十人が列席して鍵田市長が点火ボタンを押し、焼却炉に火が入りました。ここ当分は、試運転として各種のテストを続け、十二月中ごろには本格運転に入る予定で、そうなると、長い間悩み抜いた奈良市のゴミ処理はこれを機会に一挙に解決することになります。

完成した清掃工場は、一日三百六十トンの焼却能力をもつ、人口三十五万人規模の最新式ゴミ焼却工場で、総工費五億八千万円の巨費を投じ昨年九月平城ニュータウン東端の国道二十四号バイパス沿いに着工したものです。

鉄筋コンクリートづくり、地下一階、地上五階建て、延床面積四千六十三平方メートルの近代的建築です。管理施設も最新のもので、計量室には電子計算機を導入し、万全を期しています。その他余熱を利用して一日中湯煙りの立つ浴室をはじめ、事務室、会議室、食堂なども完備されています。

火入れ式のあとつづいて試運転に入り、十一月十八日までは一炉ごとにテストしましたが、結果は順調で、十九日からは二炉運転に切りかえ徐々に焼却量をふやしています。この調子で行けば予定どおり本格運転に入れる見通しで、付帯工事を急いでいます。

＝写真は試運転に入った清掃工場（左）と火入れ式で玉串を捧げる鍵田市長

公害絶対出さぬ

完全焼却ほこる機能

新清掃工場の建設は二十一万奈良市民長年にわたる宿願であり、一日二百五十トンも出るゴミが焼却処理できるのはわずかに二十七トンで、あとはすべて埋立て処理をしている現状で、このままでは一日も猶予できなくなっていました。鍵田市長は五年前就任とともに〝政治生命をかけて〟ゴミ処理に取り組み、地もと民の協力を得てようやく解決にこぎつけたものです。

それだけに、工場から出る公害の防止に力をそそぎ、最新で効率の高い工場の完成をめざすとともに「無煙」「無臭」「無菌」の三要件を完全に満たす工場がここに出来上がったわけです。煙突をことさら五十五メートルもの高さにしたのも、排煙の拡散を考慮して絶対無害を念じたためであり、広い敷地の大半を緑化して公園的構成にしたのも、ゴミ工場という暗いイメージを払いのけて、快い環境づくりを願ったためです。

三基の焼却炉は、一日三百六十トンの焼却能力を持ち、七百度から千二百度の高温で焼却するため悪臭を放たず、塩化ビニール系のゴミも一割までの混入であれば炉をいためることなく、また公害を出さずに完全に焼却できる高性能をもっています。

収集車から投入された生ゴミを一時貯蔵する塵芥濠は完全密閉式であり、濠内は常に負圧に保たれているのでゴミや臭気が外部に散逸することがありません。現在のゴミはその五割以上が水分のため、完全焼却するには十分な乾燥が必要です。そこで生ゴミはまず乾燥装置階段式ストーカに送り、燃焼時に発生する高温ガスを利用して乾燥させます。この乾燥したゴミは燃焼装置に送られ、ゴミを均一にかきまぜながら焼却処理されます。さらに難燃物は後燃焼装置で赤熱した灰の中で約三時間置き、ここで完全に焼却されます。

こうしてゴミは焼却処理されますが灰と灰にまじって不燃物が二〇～三〇パーセント残り、埋立て処理されることになります。この灰は水中を通して排出されるので、灰の飛散や悪臭もとり除かれます。またこれに使用した水は浄化装置により水質汚濁法の基準値以下で排出されるので、河川の汚染などの心配は全くありません。その他、燃焼時に発生する高温のガスは生ゴミの乾燥などに利用したあと、水噴射装置によって約三百五十度の温度に下げ、ガス中のダストは集塵装置マルチサイクロンによって完全に脱塵し、誘引通風機を通って高さ五十五メートルの煙突から排出されます。この時点で完全に無煙、無臭となっており、もちろん大気汚染法による基準値以下を保てるようになっています。

付帯工事は、敷地の緑地化が中心で玄関前には噴水を設置し、構内には築山・花壇を設け緑の樹木に四季の花と水を配した明るく美しい環境の工場となり、ゴミ処理工場というイメージはすこしも与えないようになっています。

清掃事務所もここに建てる

また、清掃基地をこの工場と道路をへだてたすぐ東側に予定しており、現在その建設用地を造成中で、近く冷暖房の完備した清掃事務所が建設され、大安寺にある清掃事務所がここへ移されることになります。

これら一連の工事完成で、深刻なゴミの悩みは解消され、文化都市として、また観光都市として奈良市の面目は一新されることになります。

しかし、どんどんと進む消費生活で排出される大型ゴミをどのように処理するかは、なお今後に残され、市清掃課では新年度をめどにその対策樹立を急いでいます。

訂正

11月15日号六面に掲載の「軍人恩給など優遇」の記事のなかの遺族年金支給の項③「旧軍人・軍属で昭和二十九年九月二日以後」とあるのは「昭和二十年九月二日以後」の誤りでした。訂正します。

姉妹親善

初の慶州市観光物産展 15日から友楽観光ビルで

姉妹都市・韓国慶州市の第一回観光物産即売展が十二月十五日から六日間（時間はいずれも午前十時～午後八時）市内角振町の友楽観光ビルで開かれます。

この催しは奈良市観光協会と慶州市観光協会が共催してはじめて奈良市で開くものでさきに慶州市で行なわれた奈良観光物産展示会には、約七万人の入場者があり、好評でした。

展示される品物は民俗陶磁器・水晶加工品・螺鈿（らでん）漆器・刺しゅう製品・にんじん茶・新羅土器など約九千点。

このほか慶州市の写真展やアトラクションとして伝統の「国楽」の紹介などもあって両市の親善と文化の交流を深めることになっています。

国際色盛って おん祭 十五日から

古都の数々の年中行事の締めくくりとして、師走をけんらん豪華にいろどる恒例の春日若宮おん祭は、十二月十五日から執行されます。

この祭りは五穀の豊かなみのりを祈り祝う祭りとして八百三十五年前、保延二年（一一三六年）から始められたと伝えられます。ことしは姉妹都市の韓国慶州市金昌坤、小浜市島居史郎両市長も行列に参加する予定で、慶州市観光物産展とともに国際色ゆたかな祭典となります。

▽十五日（水）＝餅飯殿の大宿所で午後五時から大宿所祭執行。

▽十六日（木）＝本社と若宮社で午後四時から宵宮祭。

▽十七日（金）＝午前零時遷幸の儀、午前十時から本社と若宮社で本殿祭、午後一時からの渡御は国鉄奈良駅前を出発し、三条通りをお旅所へと大時代行列が行なわれます。午後三時からお旅所祭があって午後十一時還幸の儀。

▽十八日（土）＝お旅所で午前十時から奉納相撲大会、午後一時から後宴能楽。

米穀通帳の期限 一年間延長

現在ご使用中の一般用米穀類購入通帳（米穀通帳）の有効期限は、ことし十一月三十日までとなっていましたが、食糧庁の指示によって四十七年十一月三十日まで一年間延長されました。お手もとの米穀通帳は住民票のある市民課または西部・東部両出張所へ持参ねがえば有効期限を更正します。

市役所は半日勤務 17日

「おん祭」の十二月十七日（金）は、恒例により奈良市役所の執務は午前中に終ります。ご用向きは、どうかこの時間内におねがいします。

税の相談日 毎月 5・15・25日 奈良税務署で

移転 市福祉事務所 教育委員会構内へ

市庁別館（市内池之町）にあった市社会福祉事務所が、十一月二十五日からつぎのところへ移転し、執務しています。

奈良市紀寺町八二六番地、奈良市教育委員会事務局構内
福祉課（電話㉒七〇三四番）
保護課（電話㉒七一〇三番）

宮田建設局長勇退

奈良市建設局長宮田辰男氏は、十一月二十日付けで勇退、後任には慶田助役が事務取扱として発令されました。

新自治会長 11月25日現在

（敬称略）

【町内自治会長】春日苑二丁目＝今井康治▽学園松ケ丘＝前田与一郎▽飯守町＝花村賢典▽朱雀園二丁目＝中川一男▽売間町三丁目＝木野下克己▽水間町＝山下金三郎▽馬場町＝西尾茂

発行＝奈良市役所（奈良市東寺林町38）電話（24）1111番 〒630 毎月1日15日発行 全戸配布

印刷＝共同精版印刷株式会社

家庭防火診断

危険一ぱいLPガス

管理と器具に欠陥目立つ

十カ月に指導一万件

奈良市消防本部では、予防消防による「火災ゼロのまちづくり」をめざして一般家家防火診断をつづけています。

ことしも一月から十月末日までに三万二千三百五十六世帯を延べ二千二百七十九人の署員を動員して一軒一軒巡回し、診断家庭の三三・三%にあたる一万八百六件の不備を指摘し、指導してきました。その内訳はつぎのようになっています。

この診断結果によると、家庭燃料や暖房のうち最近普及のめざましいLP関係に一ばん欠陥が多く、不備を指摘された件数の七二・六%と意外にも高い比率を占めていました。まことに〝危険いっぱいのLPガス〟を地で行くような寒々しい状態だと、消防署員をびっくりさせました。これは非常に便利なLPガスの性質から、多くの家庭が気やすく使用するのはよいが、逆にその危険な爆発性や燃焼力を知らずに、正しい管理や使用に無関心であることによるものと思われます。ボンベは屋外の安全な個所に隔離状態に置いて、金属管でつながねばならないのを、台所に持ち込んだり居間や寝室に接して置いているなど、まるで爆薬を抱いて暮らしているような家庭が多かったということです。

つづいてこんろ・電熱器・ガス関係が一二・四%で安全管理と器具の欠陥が目立っていました。これに対して、家庭暖房で一ばん普及している石油ストーブは、さすがに身近に取扱う関係から注意が行届き、指摘件数はわずか三十三件（〇・三%）に過ぎませんでした。

これから厳しい冬将軍を迎えるので、消防本部ではこれら診断結果にもとづいて、危険度の高い欠陥部分を重点的に指導し、家庭の警火態勢を徹底させてもらうことにし、さらに診断をつづけていくといっています。

◇LPガス　七八四二件（72・6%）

①使用しないコックにキャップをする。
三三四二件（42・6%）

②ゴム管にホースバンドをとりつける。
三二九四件（42%）

③ゴム管が老朽している。
九五四件（12・2%）

④ボンベを屋外に出し金属配管にする。
二五二件（3・2%）

◇こんろ・電熱器・ガス
一三三九件（12・4%）

①器具周辺の燃えやすいものをとり除く。
六五〇件（48・5%）

②器具の下に金属以外の不燃性台を置く。
三六七件（27・4%）

③付近を整とんする。
一五六件（11・8%）

④器具のとり付け位置は安全な間隔にする。
一四〇件（10・4%）

⑤器具の破損を修理する。
二六件（1・9%）

◇煙突五九七件（5・5%）

①家の造作に接している部分を離す。
三二三件（54・1%）

②き裂破損を修理する。
一八三件（30・6%）

③煙突そうじをするなど。
九一件（15・3%）

◇ガソリンなど危険物
四三二件（4・0%）

①消防署へ無届。
三五二件（81・5%）

②安全な場所へ置く。
六四件（14・8%）

③取り扱い不注意。
一六件（3・7%）

◇かまど
二七二件（2・5%）

①たきロを整とんする。
二二七件（83%）

②き裂破損を修理する。
二七件（11%）

③壁などから離す。
一八件（6%）

◇電気二〇七件（1・9%）

①電気配線を修理する。
一七五件（84・5%）

②器具の破損を修理する。
三二件（15・5%）

◇屋外などの整理整とん
六三件（0・6%）

◇石油コンロ（ストーブ）
三三件（0・3%）

①安全な場所へ置く。
二二件（66・6%）

②破損個所を修理する。
一一件（33・4%）

◇火消しつぼ
二一件（0・2%）

①不燃性の容器に入れる。
一〇件（47・6%）

②安全な場所に置く。
六件（28・6%）

③容器の破損を修理。
五件（23・8%）

保育園児の贈りものに鍵田市長もニッコリ

かわいい―プレゼント

鍵田市長へ

「市長さん毎日ごくろうさんです」と「勤労感謝の日」を前にした十一月十八日、市内宝来町伏見保育園の加茂佐和子ちゃんら四歳児十二人が市役所を訪ずれ、鍵田市長にキクやカーネションなどでつくった花束と紙細工を贈りました。

このかわいい来客に鍵田市長も目を細めて頭をなでたり握手をしたりして歓迎しました。

↑大安寺下水処理場で

この目でたしかめた市政のすがた

施設見学会に60人

市行政の実態を市民に自分の目で確かめてもらおうと、毎年催している市営施設見学会をことしは十一月十三日に行ないました。

参加したのはさきに申し込んだ人たち六十人で、家庭の主婦が大半でした。

午前九時バスで集合場所の奈良公園を出発。二十一万市民の命の水を満々とたたえ偉容を誇る須川ダムをみて緑ケ丘浄水場へ、「木津川取水口の上流に建設した相楽郡七か町村共同し尿処理場の排水はどうなるか」「BOD（生物化学的酸素要求量）についてくわしく説明してほしい」など熱心な質問が続出しましたつづいて法蓮町の鴻の池の陸上競技場、市民体育館建設現場などを見学して福祉天国の拠点「みどりの家」「老春の家」へとみてまわりました。

午後は大安寺の下水処理場をみてから今夏完成した西部公民館を村井館長の案内で見学、市政映画「なら」をみてみのり多い見学会を終りました。＝六面に参加者の一人市内あやめ池南一丁目岡良子さん（62歳）の感想記。

そこで、これら工事に際しつぎの点を守ってほしいと、同水道局では市民みなさんの協力をおねがいしています。

◉水道メーターは検針しやすい場所に＝家の新改築で水道メーターを設置するときは、宅地内でも道路に近く、検針のしやすい場所にしてください。

◉水道工事はかならず公認業者へ＝水道の新設や、改良の工事は、かならず市内にある三十五の水道公認業者にたのんでください。そうでないと不法施工として大へん迷惑がかかり、給水もできません。

◉水道メーターの取替えは水道局または公認業者へ＝家の改築や庭づくり、ヘイづくりをしたとき、メーターがかくれたり埋まったりして、検針も取替えもできなくなって困ることがありますし。工事のときは水道局か公認業者へ連絡してください。とくに石がきをつくるときは十分注意をしてください。

水道メーターを可愛がってください

家の工事の時にご注意

家の新増改築がはげしく、これらの工事ごとに水道の新設や移動が行なわれます。中には無届けで勝手に工事をしたり建物やかき根の下に水道施設を埋めてしまう人があって、市水道局では悲鳴をあげることが多くなっています。

消防車贈られる

日本損害保険協会から

日本損害保険協会から、水そうづき消防ポンプ車一台が奈良市に贈られ、その受納式が十一月十五日市庁別館で行なわれました。

式には鍵田市長、玉井市議会議長、協会側から若尾岡大阪地方委員会委員長ら関係者五十人が出席しました。協会側から贈呈のことばがあったあと、鍵田市長が感謝のことばを述べ、松田市消防長が「火災保険号」と車両名を披露しました。

寄贈された消防車は水量千六百リットルの水そうや、油火災用消火機械などを備えた精鋭車で、西消防署に配属されました。＝**写真は贈られた「火災保険号」の放水訓練**（猿沢池畔で）

12月の行事予定

【月間】
- 歳末たすけあい運動（～31日）

2日（木）
- 狭川簡易水道完成式

3日（金）
- 大安寺地区合併20周年記念式

4日（土）
- 人権週間（～10日）
- 帯解小学校体育館建設起工式

6日（月）
- 遺族歳末慰問品配布

8日（水）　大雪　針供養

10日（金）
- 歳末特別防火強調期間（～31日）

15日（水）
- 慶州観光物産即売展と韓国国楽舞踊（～20日）
- 年賀郵便特別取り扱い（～28日）
- 年末年始食品一斉取締り（～1月14日）

17日（金）
- 春日若宮おん祭り

18日（土）
- 都南中学校武道場建設起工式

20日（月）
- 春日中学校武道場建設起工式

21日（火）
- 古市隣保館建設起工式

22日（水）　冬至

23日（木）
- 交通遺児に市からクリスマスプレゼント

25日（土）　クリスマス
- 重度在宅精薄者慰問

28日（火）　官公庁ご用おさめ
- ろうあ者協会社会見学（有馬温泉）

29日（水）
- 防火年末特別警戒（～31日）

善意はつづく

市善意銀行

五月十二日　あやめ池町二丁目藤田直子さんから愛の定期便五月分として二千円。

同十三日　大保町民生委員中西勝さんから「善意の小箱」義金百四十円。

同十七日　尼ケ辻町松本弘さんから拾得金として還付された千円をそのまま預託。

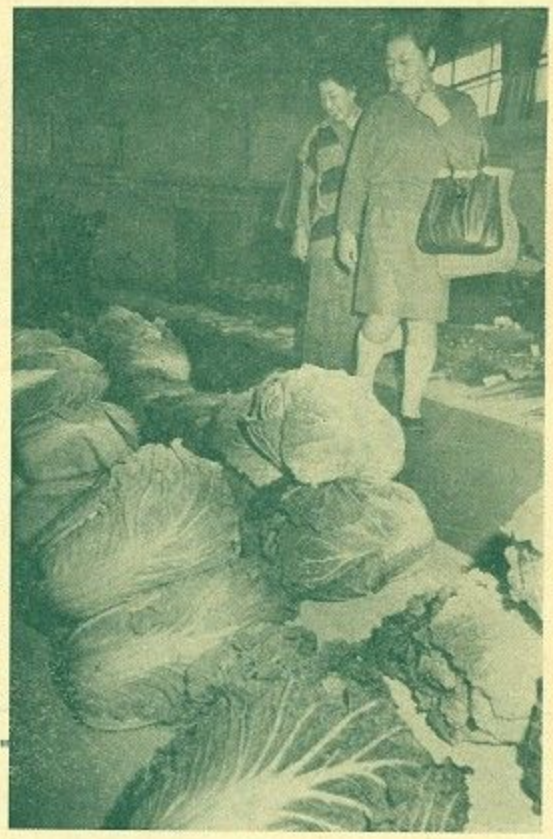
▽古市町四丁目駒井真千代さんから「一日六円貯金」でためた四千七百五十八円。

不自由な子らに楽しい一日

奈良ライオンズクラブがまねく

奈良市肢体不自由児父母の会に属している手足の不自由な子ら二十人が、十一月七日奈良ライオンズクラブ（会長中野正夫氏）に招かれて県立都祁青少年野外活動センターで楽しい秋の一日を過ごしました。紅葉した美しい大自然にかこまれた同センターの第一キャンプサイドで、はんごう炊飯やゲーム、歌唱指導など、身体の不自由さを忘れて自然にとけ込んでいました。この日の世話は奈良YMCA肢体不自由児サービスグループの皆さんの奉仕でした。

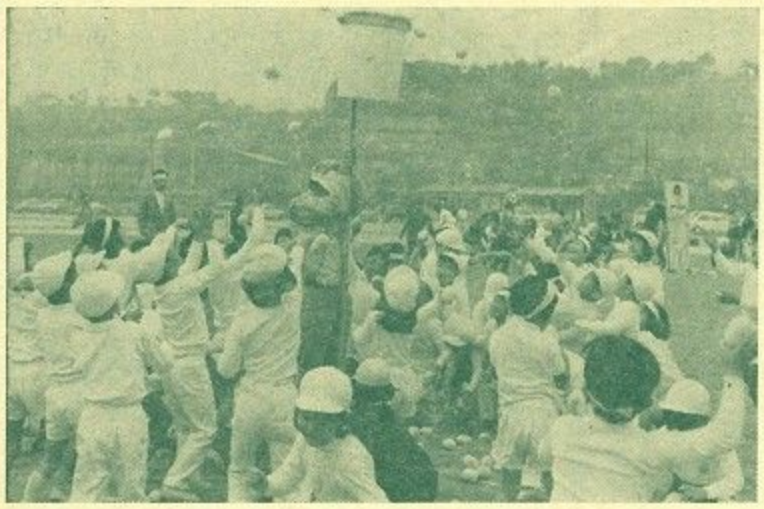
山上の綱渡り 山中で自動車が転落、谷底で救助を求めている。そんなときに備えてレンジャー部隊はこうして常に訓練を積んでいる。春日山上はもう木枯し。足の下はるかに緑ケ丘浄水場の水が光る。（市消防本部機動隊の救助訓練）



マアー スゴイ 一かかえもありそうな大きなハクサイがずらり。参観のママさんも思わずツバを飲みこむみずみずしさです。（北和都市連合協議会の四市農産物品評会）

駆けろ 車イス 手足の不自由も何のその、ヨーイドンで車イスは駆ける駆ける。魚つり競争のスタートである。平城宮跡大極殿跡に秋の日は快い。身障者の顔は底ぬけに明るかった。（初の身体障害者運動会）

市長さんも一日父親 母子家庭の子が夢に描くおとうさん、たった1日ではあるが、そのおとうさんと鈴鹿ランドで遊んだ。野外で鍵田市長さんと食べたべんとうは、とてもうまかった。（一日父親の催し）



パパママもいっしょ めったに遊んでくれないパパ、ママ。きょうばかりはいっしょに走った。ぼくは◀ボール入れに勝った。（バンビーホームの運動会）

逸品ぞろい

北和都市連合会の農産物品評会

奈良・天理・大和郡山・生駒の四市でつくる北和都市連合協議会が初の試みとして農産物品評会を十一月十八・九の両日奈良市立西部公民館で開きました。

日ごろの栽培技術の成果を競い、農業の発展をはかるため開かれたもので、四市の農家約五百戸から六百七十三点が出品されました。野菜類が四百三十五点と圧倒的に多く、とくに白菜と大根・ニンジンなどの根菜類はつぶぞろいの逸品。そのほかホーレンソウ・キャベツなど季節の野菜や果実、シイタケ、茶、鶏卵、花キなど地域の特産がずらり、同公民館二階の大ホールを埋めました。

県園芸農産課の安井俊三技師をはじめ消費者代表の主婦三人をまじえた二十二人で審査が行なわれ、特賞四点、一等十八点、二等三十六点、三等五十点が選ばれました。

十九日午後表彰のあと三時から全出品の即売があり、買物かご姿の主婦ら約二百人が殺到、市価の三分の一以下の安さとあって野菜の山も二十分ばかりで売り切れました。

奈良市関係（特賞なし）の一等入賞者はつぎのみなさんでした。（敬称略）

茶＝谷村誠紀（興ケ原）▽ユリ＝中西利夫（山町）▽シイタケ＝西田要（下狭川）▽里イモ＝柳野一雄（中町）▽カブラ＝新谷昌司（狭川東）▽キャベツ＝長岡治（南永井）▽ニンジン＝加藤亀太郎（奈良阪）加藤実（奈良阪）▽ホーレンソウ＝木村徳次郎（青野）▽丸ダイコン＝植原一雄（青野）

〃〃〃〃〃

山上の綱渡り

市消防機動隊の人命救助猛訓練

四十三年四月一日発足した市消防機動隊は、交通事故の多発と複雑大型化する事故に対処して、その機敏性を生かし人命救助に活躍をつづけています。

また実戦にそなえ連日救助技術の訓練が行なわれており、写真（上左）は十一月十二日春日奥山で行なわれたレンジャー訓練の水平わたり、このあとバス転落事故の想定でタンカによる救出訓練などが行なわれました。

両親といっしょ

バンビーホームのうんどうかい

両親がお仕事に出ていて、いつも昼間は独りぼっち、バンビーホームで夕方までを暮らす子らに〝両親との楽しい一日〟を贈ろうと、市教育委員会主催の「バンビーホーム運動会」が十一月十四日市内鴻の池の運動公園陸上競技場で開かれました。ことしで二回目。

参加したのは市内十ホームの子ら約三百人、それに日曜日とあっておとうさん、おかあさんと久しぶりに連れだって楽しさがいっぱい。ときおり小雨のぱらつくなかを玉入れ競技や綱引きに子ども心がはずむ。親子が組んだ二人三脚、飛び入りの対抗リレー、転がるおかあさんに思わず飛び出す子ども。なごやかにもはち切れるばかりの一日でした。

不自由もなんのその 初の身障者運動会

第一回奈良市身体障害者大運動会が、十一月十四日平城宮跡大極殿跡で開かれました。身体の不自由な人たちを元気づけ、健康を進め機能の働きをよくしてもらおうと、奈良市と奈良市身体障害者福祉協会連合会が共催して、ことしはじめて行なわれたもので、家族らもあわせて三百人が参加しました。

鍵田市長のあいさつ、玉井市議会議長のお祝いのことばのあと、第七回全国身体障害者スポーツ大会車イス・スラロームの部で金メダルを獲得した倉田隆夫さんが、元気な声で宣誓。つづいて競技にうつり、五十メートル競走、魚釣りレース、松葉づえレースなど多彩なプログラムで、身体の不自由を感じさせない、明るい一日をすごしました。

一日お父さん

鍵田市長らが母子家庭の子と鈴鹿ランドで

母子家庭の子どもたちにお父さんのいつくしみを味わってもらいながら、楽しいひとときをと、鍵田市長、慶田助役はじめ市の各部長が父親がわりになって、十一月二十一日、三重県鈴鹿市の「鈴鹿ランド」で「一日父親とのつどい」が催されました。

参加したのは小学校一年生～六年生の男女百四十五人で午前九時おかあさんの見送りを受けて四台のバスに分乗して県庁前を出発。子どもたちのうれしそうな気持ちそのままの秋晴れのもと名阪国道をへて「鈴鹿ランド」へ。

さっそく全館貸し切りの「エンジン教室」にはいり映画を見てエンジンの話しなどをききました。

このあと、公園で鍵田市長らを囲んでの楽しい昼食。午後からは広場で「タルころがし」や「借り物競走」などのゲームをしました。また、ゾウさん列車やちびっこレーサーなどに乗ってはしゃぎまわっていました。

帰りのバスでは、うたをうたったりクイズをしたりしながら午後五時すぎ奈良に到着出迎えのおかあさんと楽しかったおみやげばなしをしながら帰っていきました。

阿弥陀如来三尊像をおくる

光明婦人会、東山霊苑供養塔へ

東山霊苑供養塔に、市内西の京町薬師寺竜蔵院光明婦人会から「行旅死亡人と交通事故死亡者のめい福と供養のために」と阿弥陀如来三尊像が寄贈され、十一月十五日奉納寄贈開眼式がとり行なわれました。陶板づくり四十五センチ角の三尊像パネルで、塔の壁面にはめ込まれました。

供養塔は焼骨の残灰を納め供養するために建てられたもので、鉄筋コンクリート五層づくり。西・南・北の三壁面に三十体の仏像がはめ込まれるようになっています。

電話サービスセンターへ
電 24局(代)三〇〇一番

改正道交法

今月から施行

歩行者天国も制度化

さきの通常国会で成立した道路交通改正法が十二月一日から施行されます。この改正により、歩行者の安全がさらに強調され、歩行者優先が一歩前進したことになります。

道路交通法は、昭和三十五年にはじめて施行されましたが、それから十年の歳月はわが国の交通事情を一新。幾何級数的な自動車の増加は交通事故の激増をさそい、市民の生命は危険にさらされています。このような交通事情のいちじるしい変化に対処するため、一昨年道路交通法の全面改正が企画され、昨年は当面緊要な事項について改正が行なわれました。今回の改正は、昨年の改正に引き続く全面改正の残りの部分です。この改正法では交通ルールに関する規定を全面的に整備するほか、歩行者の安全確保の規定を設けるなど必要な改正が行なわれたわけです。

改正法は「歩行者通行の安全確保」「都市交通対策の推進」「運転者教育の充実」の三つが中心となっており、歩行者通行の安全についておもなものは①歩行者天国や買物道路などが制度化されたこと、②歩行者の安全をはかるため、道路のはしが路側帯として活用されること、③歩行者の安全のため、車両の注意義務が強化されたこと、④歩行者に関する規定が整備されたことの四点です。

なお、運転免許証の更新の際の講習や運転免許試験の内容更新などに関する部分は、来年四月一日から施行されることになっています。

年わすれ

素人演芸大会

15日ひらく

十二月十五日（水）正午から午後四時まで「老春の家」二階大広間で恒例の「年忘れ素人演芸大会」が開かれます。さきに出演申込みのあった芸自慢のご老人がかくし芸を披露します。

民踊・日舞・詩吟・小うた・浪曲その他盛りだくさんのプログラムが用意されており、まっ茶のサービスもあります。市内在住六十歳以上の方ならだれでも無料で参観、楽しんでいただけます。

市民相談室

電話で予約

お待たせしないために

市民本位の行政をめざし、公聴活動の常設機関として奈良市が市庁別館に開設している「市民相談室」は、昭和四十二年十月の発足からすでに四年二カ月になりました。市政上の相談ごとから、個人の心配ごと相談、人権相談、法律相談と公私にわたる〝よろず相談〟は、だんだんと信頼を深めて、来訪者が月日とともにふえています。とくに個人的な相談は、複雑化する社会相を反映して来訪者がふえ、時には相当時間待ってもらわねばならぬことが多くなりました。

そこで市民相談室では、相談の予約を電話で受けつけることになりました。相談においでになる前日か、その日の午前中に連絡していただければ、時間の予約をし、待時間の不経済を解消しようというねらいです。電話は㉔一一一一番（交換台）です。

なお相談時間は週日午前九時〜午後四時、土曜日は午前九時〜正午で、相談日はつぎのとおりとなっています。

- 市政相談＝常設
- 心配ごと相談＝常設
- 人権相談＝毎週金曜日
- 法律相談＝毎週火・木曜日午後一時〜三時奈良地方裁判所内奈良弁護士会で。事前に市民相談室で相談カードを受取ってください。

歳末たすけあい運動

恵まれぬ人々へ　皆さんの善意を

あわただしい師走となりました。世の谷間に日のあたらぬところで暮らしておられる恵まれない人たちには、寒い風の身に滲む年の瀬でもあります。これらの人々に少しでも暖かくしてもらおうと、一日から二十五日まで全国いっせいに「歳末たすけあい運動」が展開されます。

この運動は、地域住民の自発的意思による地域の〝たすけあい運動〟で奈良市では市共同募金会社会福祉協議会、民生協、婦人会などが奉仕して寄付金や義援物資の募集にあたり、年末までにこれら善意の結晶を被保護家庭をはじめ生活不遇者、地域出身収容者施設などへプレゼントすることになっています。みなさんの温い善意を市社会福祉事務所、市役所の出張所・連絡所のほか民生委員、自治会長・婦人会長宅へお寄せください。

印鑑

登録替えは27日までに

終了告示後は新規登録扱い

印鑑証明は、昭和四十四年十二月一日から事務の敏速化をはかるため、コピー方式の採用により、印鑑を新らしい台帳に登録替えをしていただくことになり、過去一カ年余にわたり「市民だより」などを通じてお知らせし、また本年四月からは、この手続きのすんでいない方々には、はがきでその手続き方をお願いしてまいりました。

すでに、この通知をうけられた方で、まだ切替手続きのすんでいない方は、本年十二月二十七日までに、お早く本人が登録印鑑をご持参のうえ登録してある市役所市民課、または西部、東部出張所でこの手続きをしてくださるようお願いします。

なお、近く印鑑切替え終了の告示を行ないますが、その後は、この手続きがすんでいないと、あらためて新規に印鑑登録の届出をしていただかなければなりませんし、登録されてもすぐには印鑑証明は発行できないことになっていますから、この機会に必ず登録替えをしていただくようお願いします。

＝市民課

年賀状ははやく

郵便局からお願い

奈良郵便局では、年末年始の郵便物の混雑にそなえて市民のみなさんの協力によってスムースに郵便をさばきたいと呼びかけています。年賀状など、つぎの点に注意してなるべく早めにお出しください。

▽年賀状の特別取り扱い期間＝十二月十五日から二十八日まで。できるだけ二十二日までにお出しください。

▽郵便番号はお忘れなく＝郵便番号を書くと都道府県名は省略できます。

▽たくさんの年賀状＝「市内」「県内」「その他」の三つに区別し、それぞれをたばねてお出しください。

▽小学生などの年賀状＝友だちのあて先には先方の世帯主名などを明記ください。

▽カレンダーなどの大型郵便物と小包郵便物＝なるべく十二月十五日ごろまでにお出しください。

▽小包郵便物専用の臨時取扱い所＝県営大宮駐車場（市内尼ヶ辻町奈良警察署南側）構内で、新春一月五日まで開設します。ただし外国あて小包と速達小包は本局扱いです。

施設見学記

あやめ池南一丁目　岡　貞子

秋たけなわの田園風景を楽しみながら、一路須川ダムへ。途中、中の川のゴミ埋立て地を見て、なんとゴミの多いこと、なんと悪臭のひどいことここで働いてくださる職員の方々は、さぞかし大変だろうと頭がさがりました。

谷合いをうまく利用してつくられた須川ダム。七十九万六千トンという命の水をためているという。これで以前のような断水はないと聞いて安心しました。ダム工事もセメントを節約するために、固い岩場を利用したとかで、税金をムダにしない心遣いをうれしく思いました。きれいな水を満々とたたえる緑ヶ丘浄水場。淀川の水と違って、これなら安心して飲めると奈良市民の幸福をあらためてかみしめ、今日に至る工程の数々をうかがい、水は大切にせねばと今さらのように痛感しました。

大安寺の下水処理場、近づくと、それとわかる臭気。ここでも日夜働いて下さる方々に心からわき出るような感謝の気持ちでした。

緑のジュウタンを敷きつめた静かな「みどりの家」は、まことにその名にふさわしいたたずまいでした。五歳くらいまでの身体不自由児が、おかあさんと職員の方といっしょになっての遊戯練習、必死になって手足を動かそうとしている真剣な子どもも心に触れて、ぐっと胸がいっぱいになり、涙が出てまいりました。このような施設があればこそと思い、政治のありがたさをはじめて知ったような気がしました。この子らが一日も早く機能を回復して、平和な幸福な日が訪れることを念じながら、お隣りの「老春の家」へ。

なごやかな老人の姿、こんな施設があって有意義な老後を送れるとあれば、老いもまた楽しきかなと思った次第です。あちらこちらにほしいと欲張ってみました。

最後に西部公民館。近代的で明るく、十分な設備が整った生涯教育の殿堂です。これが私たち市民のものだと思うと、なんだか心ゆたかな、ほのぼのとしたものを感じました。……ありがとうございました。

福祉天国づくり

新に「愛語手帳」

知恵遅れの方の幸福願って

福祉天国づくりをめざす奈良市では、老人には「老春手帳」身体障害者には「みどりの手帳」などをお渡して、その日その日の生活指導をするとともに、希望と励ましを与え社会的な優遇措置を講じていますが、こんど知恵おくれの人々に「愛語手帳」をお渡しすることになりました。

知恵おくれの人々の変らない幸福を願って、一貫した指導と保護、訓練、教育をほどこし、その人の能力を伸ばす一方、社会の理解を求めて協力を得ようとするもので全国で初めての試み。　愛語手帳というのは「無量寿経」にある「和顔愛語」から鍵田市長が名づけたもので、仏教にいう「四摂法」の一つで「衆生に善言慰喩して法に親近させる」という深い意味（大漢和辞典）があります。この手帳によって奈良交通市内バスを無料で利用できるなどの優遇措置も講じられています。

該当の方は、市福祉課（電話㉒七一〇四番）に申請書類がありますから、手続きをとってください。

’71サヨナラパーティー

青少年児童会館で

過ぎた一年をふり返えりながら、青少年に楽しいひとときを仲間とともにすごしてもらおうと、奈良市教育委員会では、一九七一年サヨナラパーティーを青少年児童会館で催します。

【青年の部】とき＝十二月十八日（土）午後五時〜九時▽対象＝市内在住・在勤の青年▽会費＝軽食のみ実費（申し込み時に納入）▽内容＝ダンス、レコード、うた、食事、ゲームなど▽定員＝二百人。

【小学生の部】とき＝十二月十九日（日）午前九時〜正午▽対象＝市内の小学生▽会費＝無料▽内容＝各種ゲームうたのつどいほか▽定員二百人。

【中学生の部】とき＝十二月十九日（日）午後一時〜四時▽対象＝市内の中学生▽内容＝年忘れ卓球大会、各種ゲーム▽定員＝五十人。

参加希望者は市内西木辻八軒町、奈良市青少年児童会館サヨナラパーティー実行委員会（電話㉒七〇三七番）へ申し込んでください。

西部公民館

新春から四つの教室

受講申込みは20日まで

市立西部公民館（市内学園北二丁目、電話㊹〇一〇一番）では、新春からつぎの四つの教室を開きます。着物の着付教室をはじめ、いずれも暮らしに生かすことを主眼としたもので、茶道・書道教室はいままで受講されていない初心者だけとなっています。受講料は無料で、材料費は実費徴収講義時間は各日午後一時〜四時。

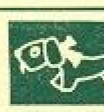
受講希望者は十二月二十日までに、往復はがきで希望教室・住所・氏名（ふりがな）年齢・電話番号を書いて同公民館へ申し込んでください。定員超過のときは抽選。

茶道教室　一月十八日から毎週火曜日、十回で終了。初心者三十人。講師は裏千家秦宗月氏。

書道教室　一月二十日から毎週木曜日、十回で終了。初心者五十人。講師は県書道教育研究会顧問中谷釜双氏。

着付教室　第一回一月二十日から毎週木曜日、四回で終了。▽第二回二月十七日から毎週木曜日、四回で終了。定員はいずれも二十五人。講師は大阪着物着付学院認定講師尾崎としえ氏。

俳画教室　一月二十二日から毎週土曜日、十回で終了。定員五十人。講師は俳画家武藤憲昭氏。



犬はかならずつないで飼いましょう